

平成 23 年 2 月 15 日

各 位

会社名 株式会社アステム
代表者名 代表取締役社長 吉村 恭彰
問合せ先 株式会社アステム
医療安全事業開発部 部長 三木 晴久
092(477)5764

事業譲渡による新会社の設立に関するお知らせ

当社は、本日（平成 23 年 2 月 15 日）開催の取締役会において、新会社を設立し、医療安全に関する一切の事業を譲渡することを決議しましたのでお知らせいたします。

1. 新会社設立の背景と目的

医療事故防止への関心の高まりを背景に、当社では平成 17 年に医療安全事業開発部を設置し、インシデント管理システムを皮切りに、褥瘡管理、感染管理、NST（栄養）管理など、各種のソフトを拡充してきました。また全国をカバーする販売代理店網も整備され、既に北海道から沖縄まで、約 140 超の大学・大病院にシステム導入され、国内トップクラスの統合チーム医療・安全管理システムとしての評価をいただける状況となってきました。

今回、国内初の「医療の質と安全」分野に専門的に貢献できる企業を目指して、新会社を設立し、同事業を譲渡することといたしました。昨今、多くの病院で、コストマネジメントに資する様々なシステムが注目され、採用されていますが、「質」と「コスト」は医療における車の両輪であり、全国の医療機関の皆様安心して医療にお取り組みいただける体制をお届けできるよう、迅速かつ機動的な取り組みをしてまいります。

2. 今回のスキーム

新会社を設立し、医療安全事業を営業譲渡いたします。

3. 新会社の概要

- (1) 商 号 株式会社セーフマスター
- (2) 事業内容 統合チーム医療・安全管理システムの開発と販売
- (3) 設立年月日 平成 23 年 2 月 3 日
- (4) 本店所在地 福岡本社 福岡市博多区東比恵 3 丁目 1-2
東京本社 東京都千代田区内神田 1-5-16 第 2 福利久ビル 6F
- (5) 代 表 者 代表取締役会長 吉村次生
代表取締役社長 三木晴久

- (6) 資本金 50百万円
- (7) 発行済株式総数 1,000株
- (8) 決算期 3月31日
- (9) 主要株主 株式会社アステム 100%

4. 営業譲渡の内容について

(1) 譲渡事業の内容

- 当社医療安全事業開発部が手掛ける一切の業務
- ・セーフマスターを中心とした医療安全ソフトの開発
 - ・医療機関への営業・販売ならびに販売代理店への支援

(2) 従業員について

医療安全事業開発部の従業員を新会社にて継続雇用いたします。

(3) 譲渡日

平成 23 年 4 月 1 日

(4) 譲渡価額および決済方法

譲渡する固定資産関係は、譲渡日前日の帳簿価額を基準とします。

(5) 初年度目標

40 病院、販売目標 3 億円

5. 当事会社の概要

(1)商号	株式会社アステム	株式会社セーフマスター
(2)事業内容	医療用医薬品および医療機器等の卸販売	統合チーム医療・安全管理システムの開発、販売
(3)設立年月日	昭和 23 年 5 月 27 日	平成 23 年 2 月 3 日
(4)本店所在地	大分市西大道二丁目 3 番 8 号	福岡市博多区東比恵三丁目 1 - 2
(5)代表者	代表取締役社長 吉村 恭彰	代表取締役社長 三木 晴久
(6)資本金	3,347 百万円	50 百万円
(7)発行済株式総数	36,490 千株	1,000 株
(8)従業員数	1,521 名	20 名 (予定)
(9)決算期	3 月 31 日	3 月 31 日
(10)主要株主及び 持株比率	株式会社フォルストホールディングス 100%	株式会社アステム 100%

株式会社アステムは平成 22 年 3 月 31 日現在、株式会社セーフマスターは設立時の概要です。

6. 営業譲渡後の当社の状況

本件による当社に与える影響は軽微であります。

<参考資料> SafeMaster(セーフマスター) 統合チーム医療・安全管理システムの概要について

システム開発の背景

医療機関における医師不足が社会的な問題になっていますが、反面高齢化の進展で患者のケアの質の維持が大きな課題となっています。それに対応し高い専門性を持つ多種多様な医療スタッフが目的と情報を共有し、連携し合って患者の状況に的確に対応した医療を提供するチーム医療の取り組みを推進しています。現在の医療機関では、感染対策チーム、褥瘡対策チーム、栄養サポートチーム(NST)、呼吸器ケアチーム等様々な医療チームが活躍し、2010年度の診療報酬改訂では殆ど全てのチーム医療に加算され、「チーム医療元年」とも呼ばれる等厚労省の重点施策となっています。

また、従来の医療安全活動の基本であるヒヤリハット(インシデント)収集によるPDCA活動と表裏一体の関係があり、チーム医療との協働と連携が必要なことは言うまでもありません。SafeMasterは、このようなチーム医療システム(感染管理・褥瘡管理・NST管理:栄養)と安全管理のシステムを国内で初めて1サーバで運用を行うことで、それぞれの業務を支援しつつ、「協働と連携」のニーズに応える情報の共有を可能としたものです。

統合チーム医療・安全管理システム「SafeMaster」の主要機能

(1) インシデント管理システム

通常のインシデント報告だけでなく、事例の原因分析やフィードバック、また他に例のないe-Learningによる安全研修機能。

(2) 感染管理システム

電子カルテと検査データ等を連携し、通常のMRSAやアシネトバクター等の分離菌管理分析だけでなく、抗菌薬の管理分析、デバイスのサーベイランス等総合的に感染管理を実行。また感染源探索やアラート機能の他、ビジュアルな病棟マップから、医療現場の感染制御活動を支援する機能。

(3) 褥瘡管理システム

医療現場のアセスメントから、瞬時に褥瘡管理者に該当患者を知らせ、早期の予防に取り組みめる機能や、マットレス管理や褥瘡記録・回診記録機能の他、ボタン一つで栄養管理システムの該当患者も確認することが可能。また国内初のハンディターミナルから、患者バーコードと褥瘡写真を撮り、無線LANでその場から転送する仕組みも備える。

(4) NST(栄養)管理システム

褥瘡管理システムと同様に、現場のスクリーニング(アセスメントとほぼ同じ)から、瞬時に栄養上の問題患者を管理者に知らせ、早期の予防に入れるほか、栄養カロリーやタンパク質等の必要栄養量を自動計算する機能。また、ボタン一つで当該の褥瘡管理システムの情報を収集することが可能。さらに必要栄養補給量をシミュレーションする国内初の機能も備える。